

テーマ名	ごみ問題と3Rについて考えよう～牛乳パックから紙を作ろう～
対 象	小学生（4年生）～大人 ※小学生の児童にあつては、保護者等の補助が必要。
最大人数	20名 ※出前講座では、減る場合がある。
所要時間	90分～120分
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ問題を理解して、3Rの重要性について学ぶ。 ・自分たちでも取り組める3R活動について考える。 ・紙のリサイクルに注目し、分別が重要であることを学ぶ。 ・身近なものを再生して新たなものを作ることを体験し、リサイクルの重要性を認識する。
内 容 ※実施時間に合わせて調整する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ごみ問題の現状を知る 1年間で発生するごみの量を知り、埋立地に限りがあること、資源やエネルギーを無駄にしていることを学ぶ。 ごみが増えて処理できなくなった場合に、自分たちの生活にどのような影響が出るのかを知り、ごみを減らすことの必要性を学ぶ。 2 3Rについて知る 3Rとは何かを学び、自らできることは何かを考える。 3 リサイクルについて知る どのようなごみがリサイクルできるのかを学ぶ。 いろいろな古紙がどのような紙にリサイクルされるのかを学ぶ。 牛乳パックが再生紙として生まれ変わる過程を学び、正しく分別することが、ごみを減らすことにつながることを知る。 ごみの分別クイズを通して、分別に興味・関心を持つ。 4 牛乳パックを使って、もう一度紙を作る あらかじめ牛乳パックから取り出しておいたパルプ成分から、パルプ液を作る。 木枠を用いて紙すきを行い、乾燥させる。 <p>〈注意〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を使用した紙すき作業あり ・乾燥工程でアイロンを使用
出前講座の可否○× (注意事項)	○（会場及び実験器具の設営・撤収のため実施前後の時間が必要。会場選定の条件として、水道及び電源完備であること。）
必要な感染対策	<p>受付時に検温と手指消毒を行う。</p> <p>原則マスクを着用する。</p> <p>実験前後、休憩前後に手指消毒を行う。</p>